

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。  
本書は、**サイドスカート**の取付要領について記載してあります。  
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

## 取り付け上の注意事項

- 取り付け前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様配慮して下さい。また、部品に傷を付れたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様注意して下さい。
- 商品を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- 車両へ商品を取り付ける際は、前後1名づつ2名で作業を行なって下さい。
- エンドモール(両面テープ付き)・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂して下さい。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- 両面テープの接着力促進剤として、**必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。**  
(PACプライマー-K500を本品に添付)
- 重要** プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、**常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。**
- 重要** ■両面テープは、**外気温が15℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。**
- 両面テープのプライマーは、溶剤が揮発するため速やかに作業を終了して下さい。
- 両面テープのプライマーは、塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、シリコンオフ等で完全に拭き取って下さい。
- ボディーコートが塗布されている車両は**塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離して下さい。**(必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。)ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を十分に発揮できない場合があります。ボディーコート除去後は、シリコンオフ等で脱脂をきちんと行なって下さい。
- 重要** ■**両面テープの圧着を充分に行なって下さい。500kPa(5kgf/cm<sup>2</sup>以上)**
- 重要** ■**フェンダーアーチ部等のビス本締めは両面テープ貼り付け後3時間以上放置後行なって下さい。**

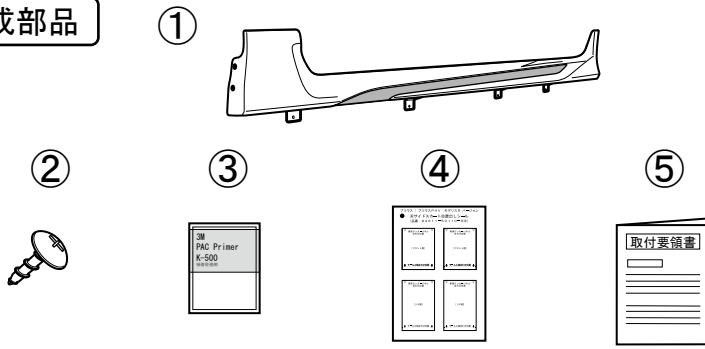
## 取り付け完了後の点検・注意事項

- サイドスカートが、車両ロッカーパネルに確実に共締めされているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、**確実に圧着**されているか点検して下さい。
- 取り付け完了後、**サイドスカート**及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
- 取り付け完了後、**最低3時間**は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。  
(両面テープの剥がれ、車両と**サイドスカート**との間に隙間が発生するおそれがあります。)



アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

構成部品

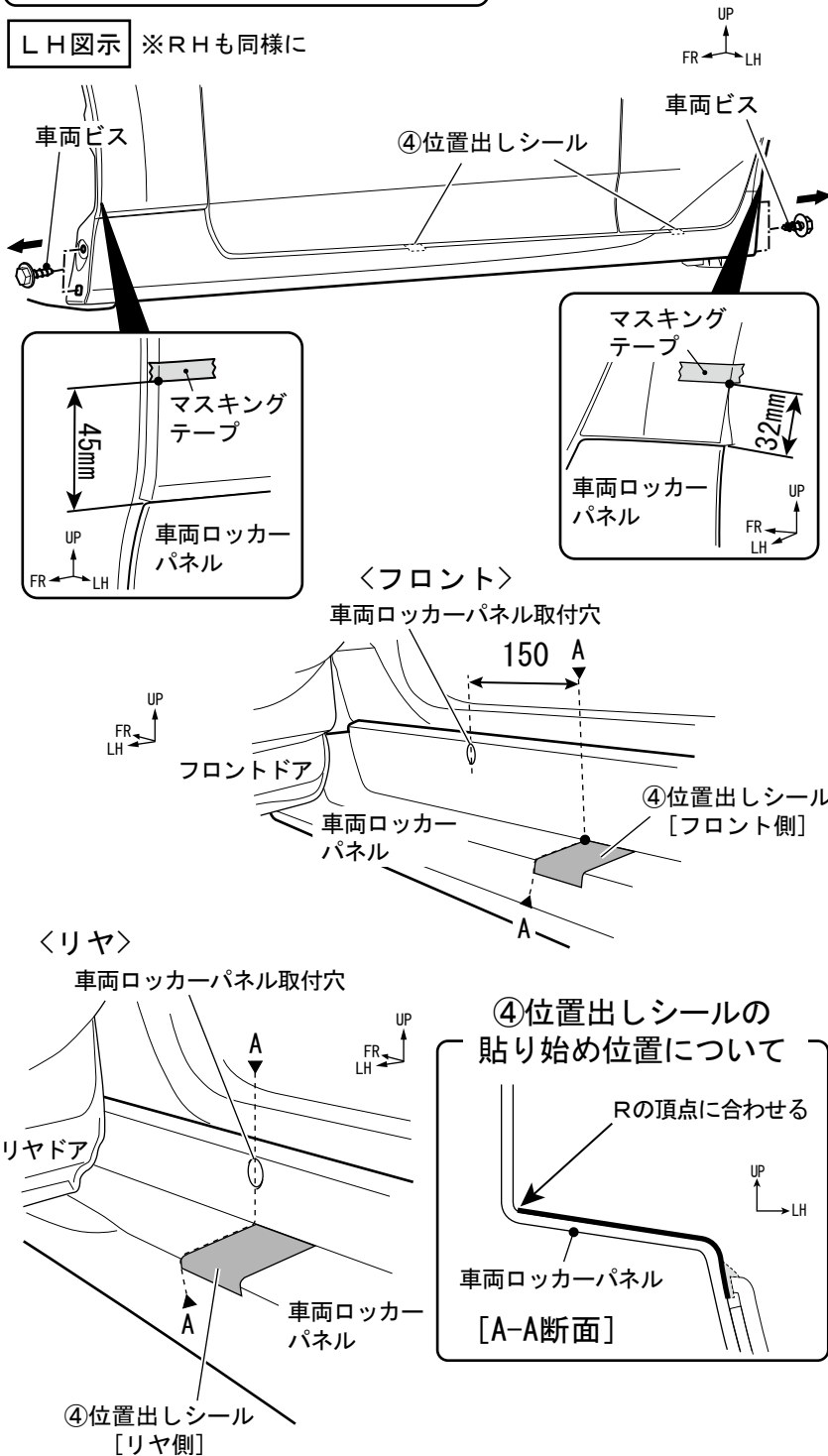


No.	品名	個数
①	サイドスカート (R/L)	1 set
②	タッピングスクリュー(M4×12)	8
③	PACプライマーK500	1
④	位置出しシール	1
⑤	取付要領書	1

# 取付手順

(1) シールの貼付けとマーキング

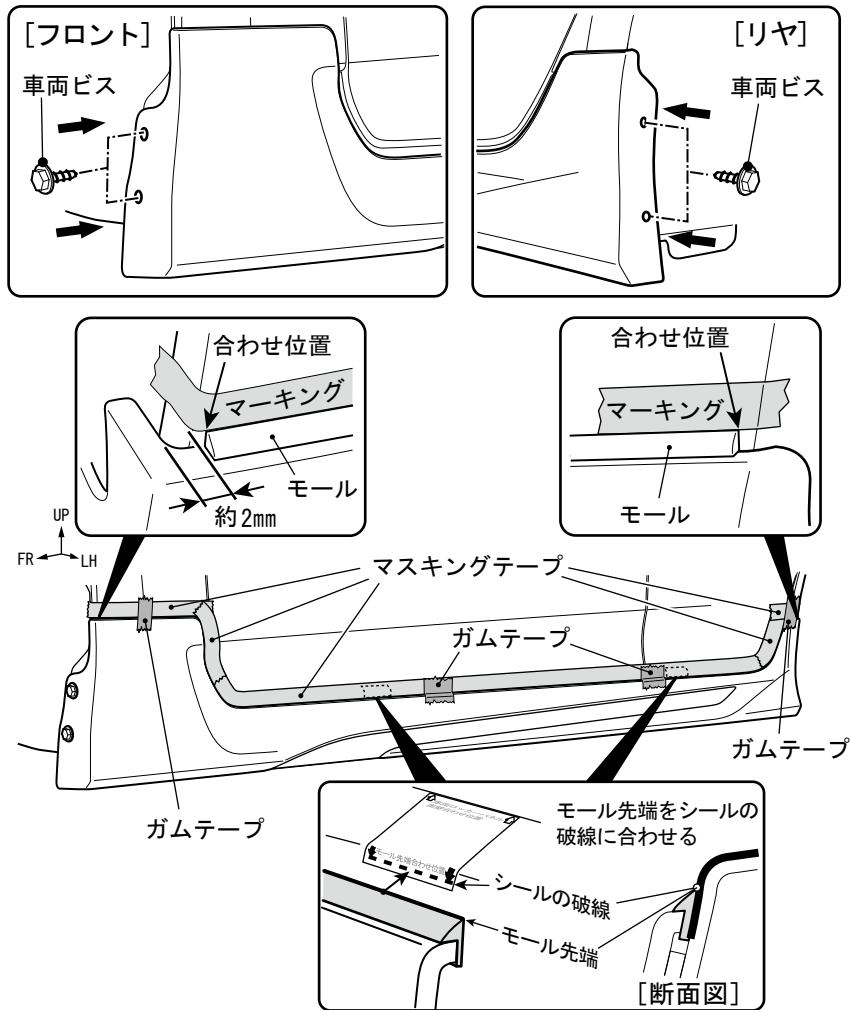
LH図示 ※RHも同様に



1. 車両前後フェンダーアーチ部の車両ビス (前後各2箇所) を取り外す。
2. フロント側の車両ロッカーパネル上端から上方へ**45mm**の位置にマスキングテープでマーキングする。  
(左図参照)
3. リヤ側の車両ロッカーパネル上端から上方へ**面沿い**で**32mm**の位置にマスキングテープでマーキングする。  
(左図参照)
4. フロントドアを開け、車両ロッカーパネルの取付穴の中心から後ろ側へ**150mm**の位置に④位置出しシール[フロント側]を貼り付ける。  
(左図参照)
5. リヤドアを開け、車両ロッカーパネルの取付穴の中心に合わせ④位置出しシール[リヤ側]を貼り付ける。  
(左図参照)

## (2) 仮組とプライマーの塗布

LH図示 ※RHも同様に



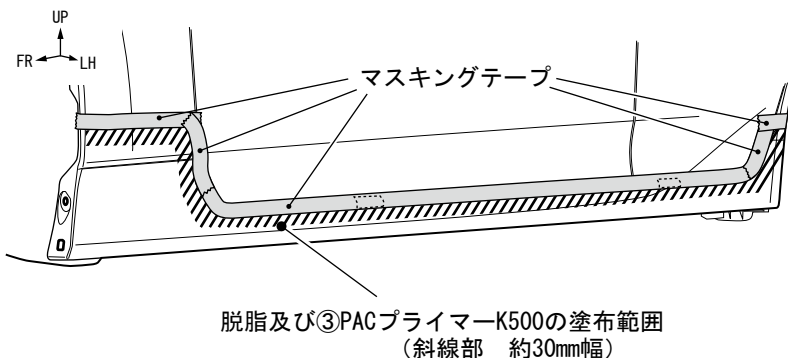
- ① サイドスカート車両ロッカーパネルにかぶせ、前後のフェンダーアーチ部を車両ビスで仮締めする。
- ① サイドスカートのエンドモール先端を前後フェンダー部のマーキング位置に、前側の隙間が約2mmになる様に合わせ、ドア下部は④位置出しシールの破線にそれぞれ合わせ、ガムテープ等で仮固定する。  
(左図参照)
3. 取付位置を決め、エンドモール先端に合わせてマスキングテープを貼り付ける。

- ① サイドスカートを一旦取り外し両面テープ貼り付け部(左図斜線部)を脱脂する。
- 両面テープ貼り付け部(左図斜線部)に③ PACプライマー-K500を塗布する。  
※③ PACプライマー-K500はRH側の取り付け時に再使用します。揮発性が高いので、速やかに袋に戻し封をし、揮発を抑えて下さい。

### 👉 アドバイス

- ③ PACプライマー-K500は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーはシリコンオフ等で拭き取して下さい。
- ③ PACプライマー-K500塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。
- ボディコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去して下さい。

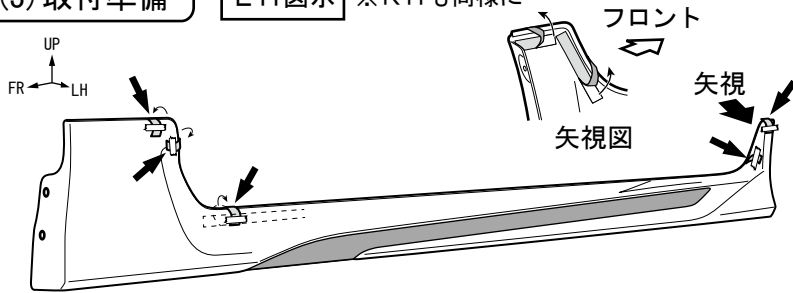
6. マスキングテープを全て剥がす。  
※高さ合わせのマーキング及び④位置出しシールは剥がさないで下さい。



脱脂及び③ PACプライマー-K500の塗布範囲  
(斜線部 約30mm幅)

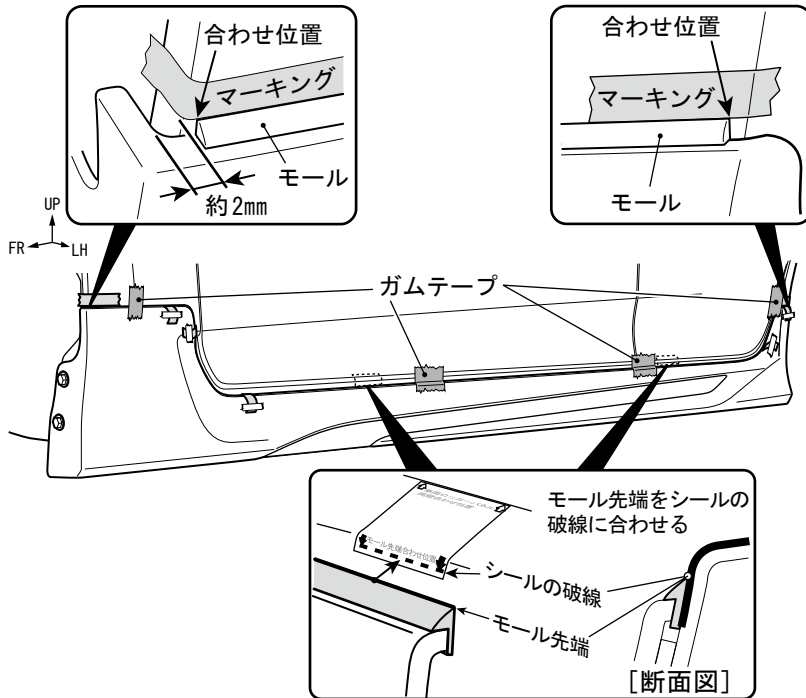
### (3) 取付準備

LH図示 ※RHも同様に



- ① サイドスカートの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼付ける。

### (4) 取り付け

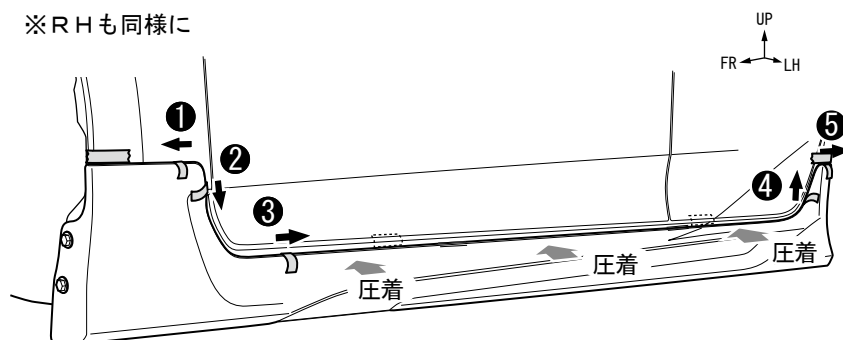


- ① サイドスカートを車両ロッカーパネルにかぶせ、前後のフェンダー部を車両ビスで仮締めし、仮組みと同様に合わせて、ガムテープ等で仮固定する。

### ※離型紙を引き抜く順序

LH図示

※RHも同様に



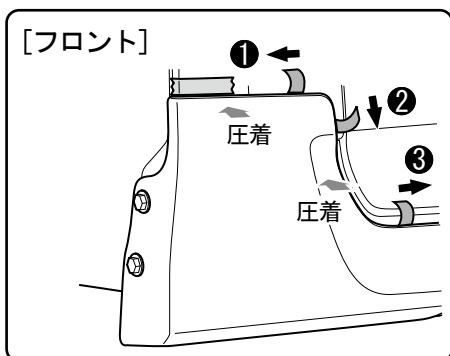
2. 取付位置が変わらない様に両面テープの離型紙を①→⑤の順に矢印の方向に向かって引き抜き、圧着する。  
(左図参照)

※離型紙を引き抜く際に、サイドスカートの取り付け高さが変わらない様に注意して下さい。

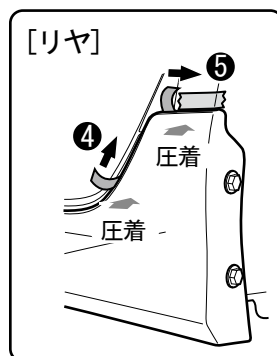
### アドバイス

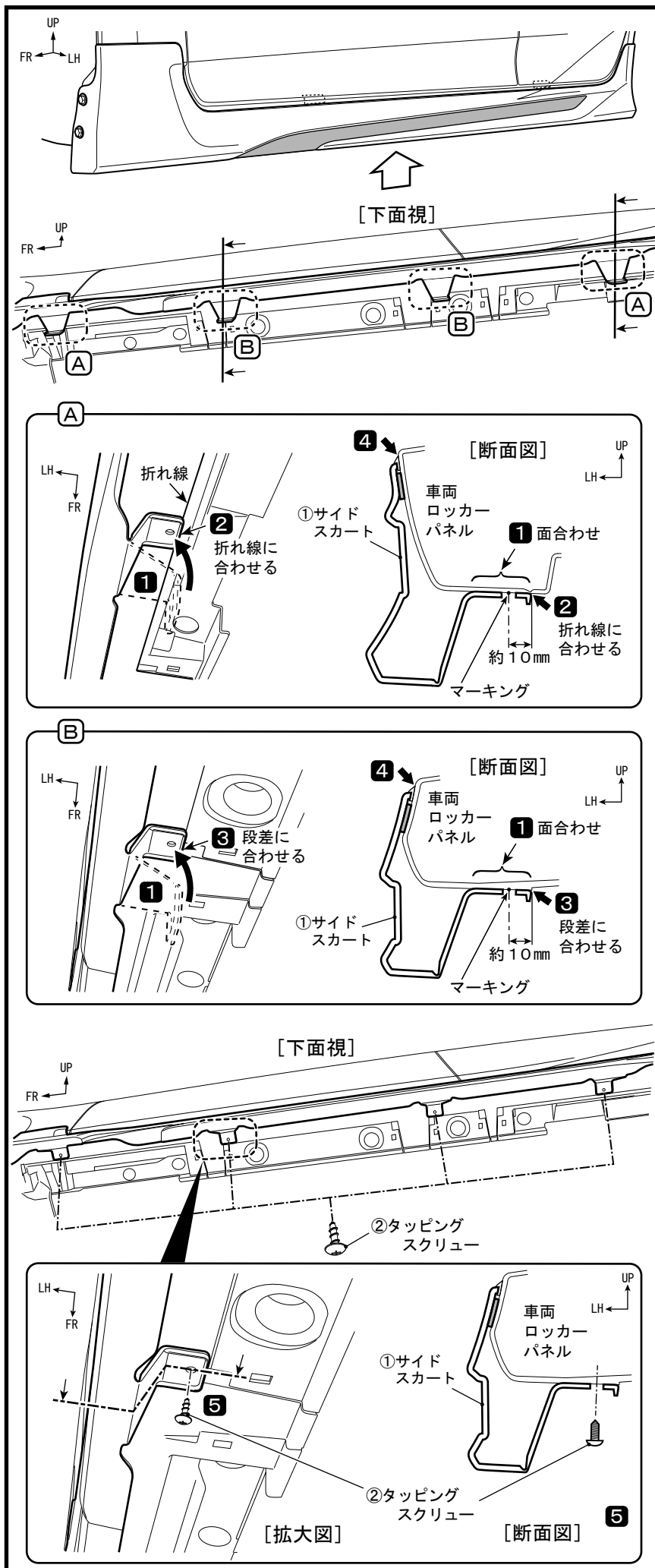
- ・両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。設定位置に確実に取り付けてください。
- ・離型紙が途中で切れない様に、①サイドスカートを少し浮かしながら離型紙を引き抜いて下さい。
- ・両面テープの圧着は、500kPa(5kgf/cm<sup>2</sup>)程度の力で行って下さい。

[フロント]



[リヤ]





3. ①サイドスカート下面を車両ロッカーパネルに下記の手順で仮固定する。  
(左図参照)

- ① ①サイドスカート下面取付部をヒンジ部分で折り曲げ、取付座面が車両ロッカーパネル下面と面合わせする。
- ② ②A部サイドスカート取付座面の端末部を車両ロッカーパネル下面のヒンジ折れ線に合う様に調整し、取付穴の中心をマーキングする。
- ③ ③B部サイドスカート取付座面の端末部を車両ロッカーパネル下面の段差に合う様に調整し、取付穴の中心をマーキングする。

※A、B部共、マーキング位置がヒンジ折れ線、段差から約10mmの位置にある事を確認して下さい。

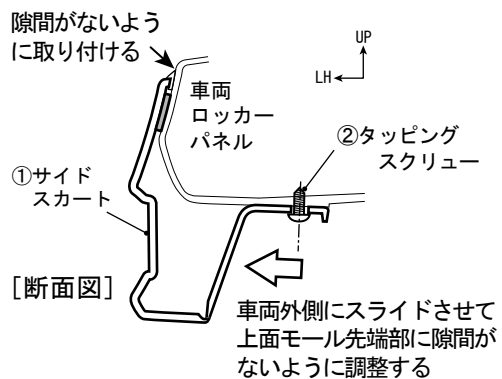
- ④ ④①サイドスカートの上面モール先端部が車両ロッカーパネルと隙間がない事を確認する。
- ⑤ ⑤①サイドスカート下面を②タッピングスクリューで仮締めする。(4カ所)

#### 👉 アドバイス

下穴を開ける際はケガキ針ないしは、画鋲を用いて行なって下さい。

#### ⚠️ 注意

①サイドスカート上面モール先端部に隙間がある場合、取付穴に取り付けた②タッピングスクリューを緩め①サイドスカートを車両外側にスライドさせて上面モール先端部に隙間がないよう調整して、②タッピングスクリューを本締めして下さい。

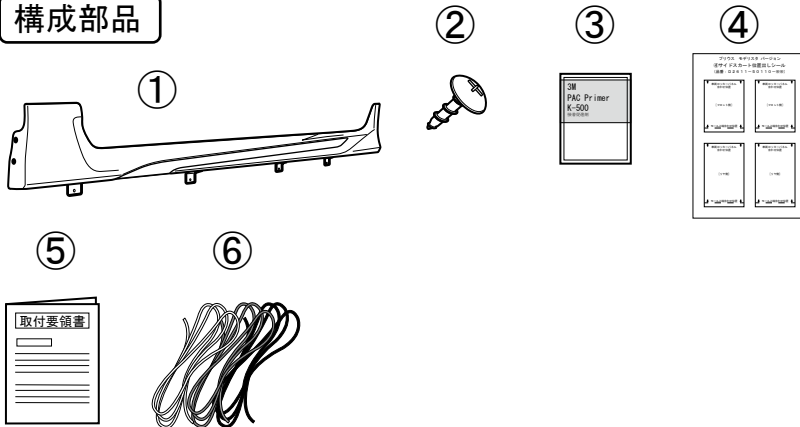


4. ②タッピングスクリューを本締めする。

5. RH側も同様の手順にて取り付ける。
6. 取り付け左右の①サイドスカートの両面テープ貼り付け位置を再圧着する。
7. 両面テープ貼り付け後、3時間以上放置してから仮締めに全て本締めする。
8. ④位置出しシールをモールが浮き上がらない様に抜き取る。

# サイドスカート素地品の塗装手順

## 構成部品



No.	品名	個数
①	サイドスカート (R/L)	1 set
②	タッピングスクリュー(M4×12)	8
③	PACプライマー-K500	1
④	位置出しシール	1
⑤	取付要領書	1
⑥	エンドモール (S)	Lグレー:2 グレー:2 ブラック:2

## 塗装作業

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。
2. 製品に貼り付けてある両面テープをマスキングする。
3. プライマー塗装を行なう。

### アドバイス

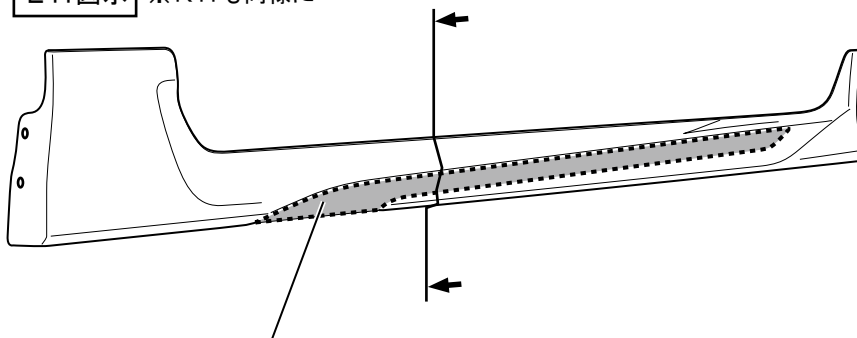
本製品の素材には難付着性の<PP>を使用している為、**必ずPP用プライマーを塗布して下さい。**

4. 上塗り塗装を行なう。  
◎注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用下さい。
5. 乾燥  
◎注記：乾燥温度は、成形樹脂の物性上、必ず60℃以下で乾燥させて下さい。


## ⑥エンドモール推奨使用色

色番号	色名称	モール色
040	スーパーホワイトII	ライトグレー
070	ホワイトパールクリスタルシャイン	ライトグレー
089	プラチナホワイトパールマイカ	ライトグレー
1F7	シルバーメタリック	グレー
1G3	グレーメタリック	ブラック
218	アティチュードブラックマイカ	ブラック
219	プレシャスブラックパール	ブラック
221	ブラッキッシュアゲハガラスフレーク	ブラック
3T7	エモーションレッド	ブラック
3U5	エモーションレッドII	ブラック
4X1	スティールブロンドメタリック	グレー
6W7	サーモテクトライムグリーン	グレー
791	スピリテッドアクアメタリック	グレー
8W7	ダークブルーマイカメタリック	ブラック
8X7	ブルーメタリック	ブラック
8X8	ダークブルーマイカ	ブラック

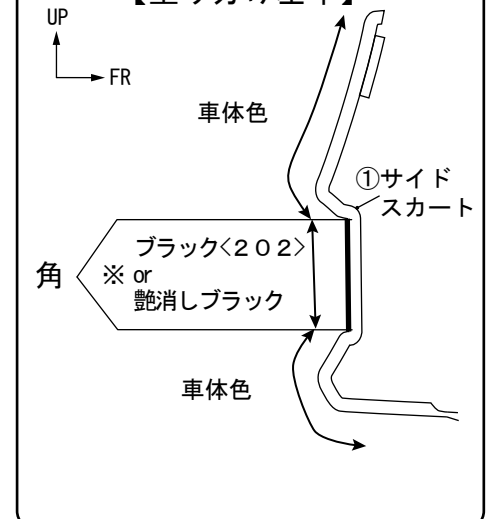
## LH図示 ※RHも同様に



車体色<218><219>：艶消し黒で塗装  
 車体色<218><219>以外：ブラック<202>で塗装

 ※塗装塗り分け範囲

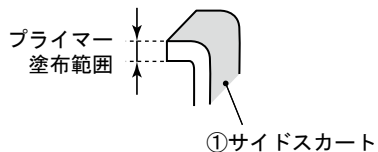
## 【塗り分け基準】



## エンドモールの貼り付け作業

1. 塗装終了後、⑥エンドモールを貼り付ける部分を脱脂し、③PACプライマーK500を塗布する。

### PACプライマーK500塗布範囲



### アドバイス

- ・③PACプライマーK500は①サイドスカート取り付け時に再使用します。揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ・③PACプライマーK500は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、シリコンオフ等で拭き取って下さい。
- ・③PACプライマーK500塗布後は、常温で**10分間以上**放置し乾燥させて下さい。

2. 図の要領で⑥エンドモールを貼り付ける。

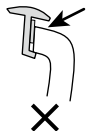
### アドバイス

- ・エンドモールを引っ張りながら貼ると、極端に剥がれやすくなります。**絶対に引っ張りながら貼らないで下さい。**
- ・エンドモールは必ず奥まで差し込んで下さい。
- ・貼り付け後、充分に圧着して下さい。

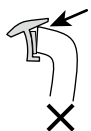
奥まで押し込む



隙間が空いている

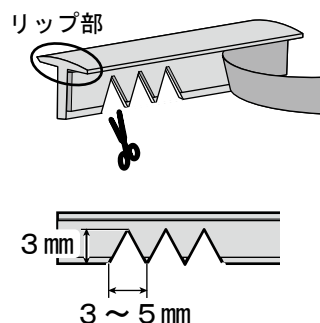


傾いている

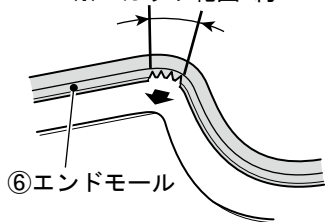


### ※Vカットの入れ方

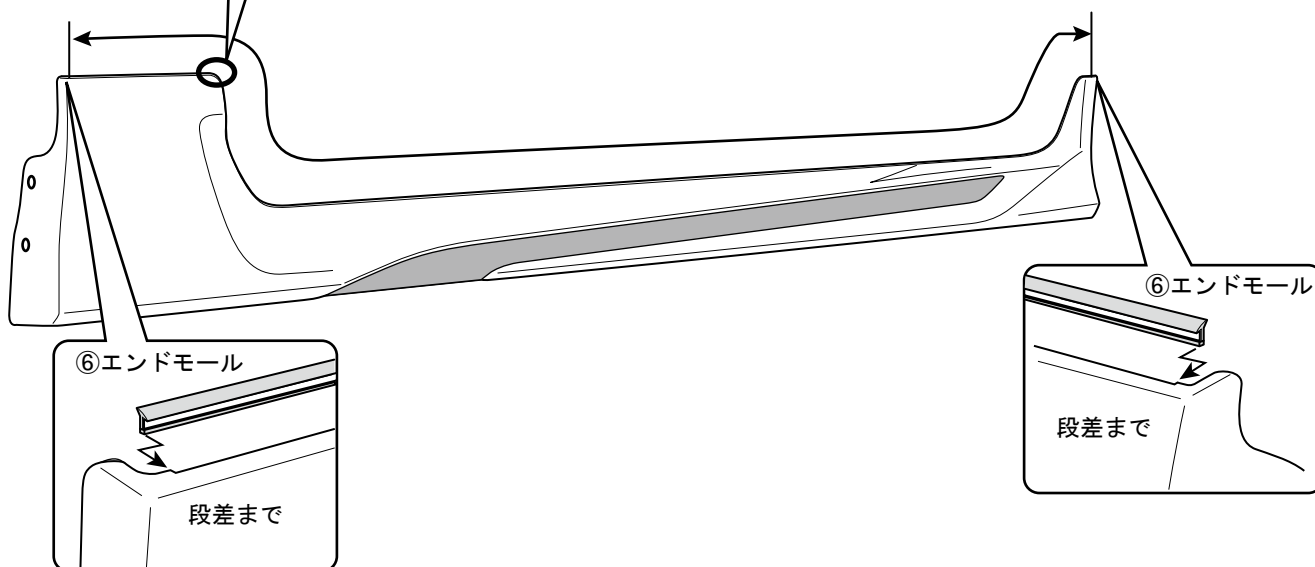
- ・必ず両面テープが付いている側を手前にしてカットする。
- ・離型紙を剥がしながらカットする。
- ・大きさ・範囲を確認し、右図リップ部をカットしない様に注意する。



※Vカット範囲 約15mm



※Vカット範囲は特に再圧着して下さい。



/取説 プラス サイト (塗装)

8000T-RS030-12



# 脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。  
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を  
解説動画でご覧いただけます。  
右のQRコードよりアクセスのうえ  
ご確認ください。

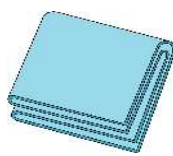


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
  - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
  - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

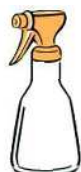
## 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用  
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用  
ウエス




WET 用  
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)  
純度 70%程度を推奨  
※純度 100%はモールを痛めるため  
使用しないこと

## 脱脂作業上の注意事項

- ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
- 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。  
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
- 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
- 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
- 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー  
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用  
燃料用として販売されている  
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは  
油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。  
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。  
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

## ★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

### ■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。  
汚れのひどい場合は、洗剤を使用して汚れを落とし、洗剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。  
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

### ■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



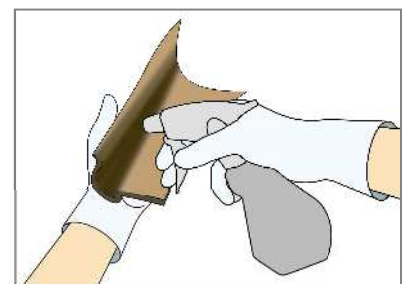
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

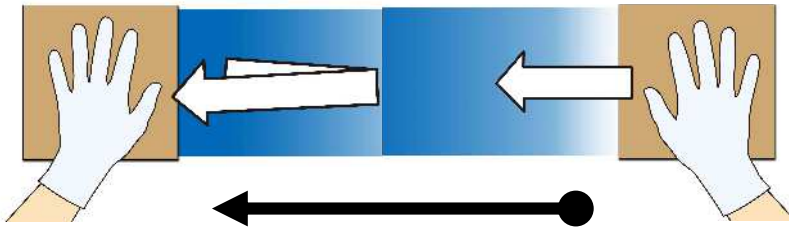
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで  
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に  
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち  
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

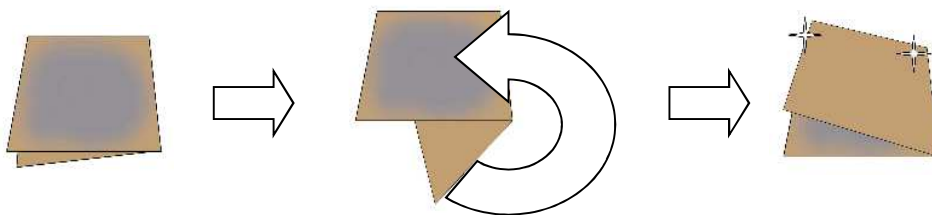
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを  
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が  
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3~5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し  
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に  
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に  
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。  
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。  
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に  
したがって行ってください。